

ミクロ経済学Ⅰ 講義要綱

私たちの経済は自然資源，労働力，資本財など，さまざまな資源に恵まれている．私たちはそれを利用して日々の生活に必要なものを調達している．そこで，与えられた資源とそれを利用して生産された生産物がはどのようにさまざまな用途に配分されるか，またどのような配分が社会にとって望ましいかという問題が生じる．そのような問題を経済の「資源配分問題」という．

ミクロ経済学の中心問題はこの資源配分問題である「ミクロ経済学Ⅰ」では，とくにつぎのことを明らかにする： 外部効果のない完全競争市場は効率のよい市場である．

概 要

- I. 資源配分のさまざまな仕組み
- II. 消費者行動の理論
- III. 生産者行動の理論
- IV. 社会の経済厚生
- V. 厚生経済学の基本定理

教科書

西村和雄 (2001) 『ミクロ経済学』第 2 版．東京：岩波書店．

予 定 表

1. 市場と計画
2. 価格の働き
3. 家計の予算制約と暮らし向き
4. 所得および価格の変化が消費需要に及ぼす影響
5. 労働供給の理論
6. 企業の利潤最大化と供給法則
7. 労働需要の理論
8. 要素代替と利潤最大化
9. 生産関数と費用関数の関係
10. 市場成果の評価
11. 厚生経済学の基本定理
12. 「ミクロ経済学Ⅱ」の課題